

令和8年8月31日

岐阜県自然共生工法研究会 各位

岐阜県自然共生工法研究会 会長 藤田裕一郎

**自然共生工法研究会
魚類・両生類生息環境勉強会(下呂)のご案内**

会員の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび、下記の要領にて動物生息環境に関する勉強会を開催する運びとなりました。

つきましては、添付の開催の趣旨（別紙）をご高覧・ご理解いただき、ご多忙の折とは存じますが、是非ともご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 令和8年10月1日(木) 10:00～15:35
- 2 会 場 座学 下呂市金山市民会館（岐阜県下呂市金山町金山2294番地）
現地 同市金山町菅田桐洞・金山地内 一級河川菅田川
- 3 申込期限 令和8年9月18日(金)16時
申込書に必要事項を記入し、メールまたはFAXにて申込先にご送付ください。（メールアドレス・FAX番号は、添付の申込書にも記載されています）
- 4 募集人数 30名（先着順・定員に達した時点で締め切らせて頂きます。）
※参加者の募集は、岐阜県内に在住・在勤の研究会員のみといたします。
※法人会員の場合は、1法人あたり2名までといたします。（先着順）
- 5 参加費 無料
- 6 主 催 岐阜県自然共生工法研究会
- 7 申 込 先 〒503-0807 大垣市今宿6-52-18 ワークショップ24 4階 ソフトピアジャパンエリア内
（公財）岐阜県建設研究センター内 岐阜県自然共生工法研究会 藤原
TEL・FAX：(0584) 81-1340 E-mail：gifu-shizen@deluxe.ocn.ne.jp
- 8 そ の 他 原則小雨決行。気象警報発表等、天候の状況により開催を中止する場合は研究会ホームページあるいはメール・電話にてお知らせいたします。長靴・雨具は各自で持参願います。昼食につきまして、近くに道の駅はありますが、時間的に混雑も考えられますので、各自でご用意下さい。

プログラム

- 9:30 ～ 10:00 受付（会場 金山市民会館 研修室1）
- 10:00 ～ 10:05 開会挨拶 自然共生工法研究会 会長 藤田裕一郎 氏
- 10:05 ～ 11:00 講義①「岐阜のオオサンショウウオを守るために
～岐阜県における現状と課題～」 大垣北高校 教諭 高木雅紀 氏
- 11:00 ～ 11:10 休憩
- 11:10 ～ 11:50 講義②「オオサンショウウオ生息地と事業実施時の対応について」
自然共生工法研究会 近藤慎一 氏
- 11:50 ～ 12:00 質問・意見交換
- 12:00 ～ 13:00 各自昼食
- 13:00 ～ 13:20 移動（集合：菅田集学校駐車場）
- 13:20 ～ 15:00 現地踏査 案内：大垣北高校 教諭 高木雅紀 氏
- 15:00 ～ 15:20 移動・休憩（菅田川現地 → 金山市民会館）
- 15:20 ～ 15:30 意見交換・アンケート記入
- 15:30 ～ 15:35 閉会挨拶 自然共生工法研究会 人材育成部会長 木呂子豊彦 氏
- 15:35 解散

開催の趣旨

自然共生工法研究会は、流域の自然と人々の暮らしが持続的に共生する地域づくりを目指し、科学的知見と現場の実践を結びつける取組を進めております。その中で、岐阜県における国の特別天然記念物オオサンショウウオをめぐる諸問題、とくに、外来種との交雑問題は、自然生態系の保全において看過できない喫緊の課題となっています。近年、下呂市金山町の菅田川では、外来種チュウゴクオオサンショウウオとの交雑が急速に進み、幼生の約85%が交雑個体に置き換わるという深刻な状況が確認されました。これは、地域の自然文化の継承と生態系の健全性を揺るがす重大な危機であり、流域の自然共生を考える上で避けて通れないテーマであります。

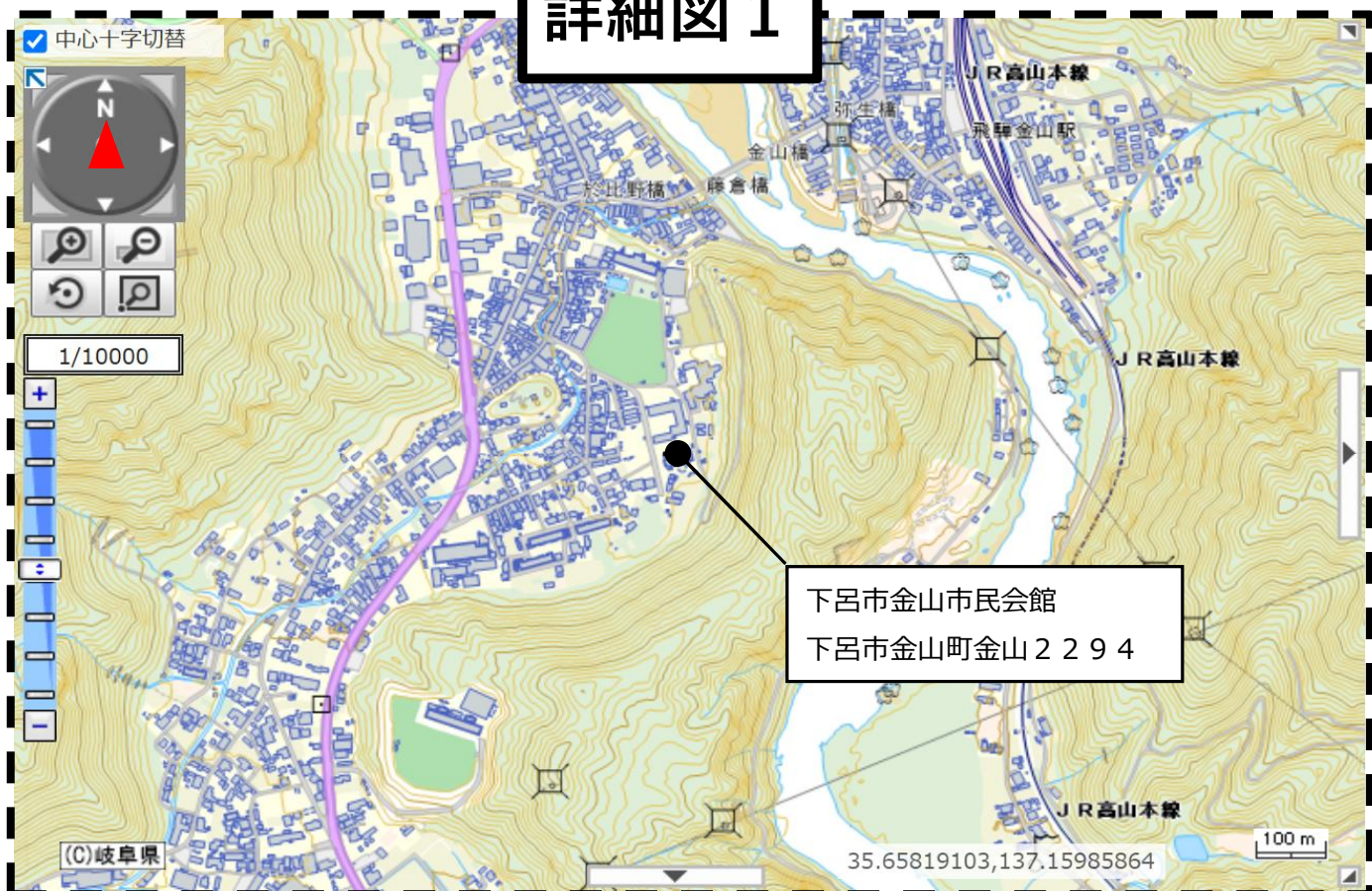
この課題に対し、岐阜県立大垣北高等学校自然科学部に所属する生徒たちは、同校教諭・高木雅紀先生のご指導の下、夜間・昼間の現場調査に環境DNA・遺伝子解析など最先端技術を組み合わせ、交雑の実態と絶滅メカニズムを科学的に解明してきました。さらに、菅田川に点在する堰堤を「外来種が遡上できない壁」として活用し、上流域を在来個体の聖域として保全するという具体的な保全策を提案し、日本学生科学賞において最高賞である内閣総理大臣賞を受賞するなど、全国的にも高い評価を得てきています。

自然共生工法研究会として、この先進的な研究と地域協働の姿勢に学ぶべき点を見出し、高木先生のご協力を得て、菅田川の現場を訪れる勉強会を開催いたします。現地では、清流の水質、堰堤の構造、周辺の暮らしとの距離感など、研究の背景となる環境を実際に確認し、自然共生工法が重視する「現場から学ぶ姿勢」を体感いたします。併せて、座学では、交雑問題の科学的背景、遺伝子解析の成果、聖域化の具体的手法など、同学校自然科学部が構築した保全モデルを体系的に学びます。

位置図



詳細図 1



詳細図 2





魚類・両生類生息環境勉強会(下呂)申込書



岐阜県自然共生工法研究会 宛

FAX 0584-81-1340

E-mail gifu-shizen@deluxe.ocn.ne.jp

【申込締切】令和8年9月18日(金) 16時まで

※法人会員の場合は、1法人あたり2名までといたします。

個人会員・法人会員(法人名 _____)

(必ずいずれかに○をつけてください。)

フリカ ^ナ 氏 名		本研究会主催勉強会への参加経験確認 (○をつけてください。)
		1.過去に植物の勉強会への参加経験あり 2.過去に魚類の勉強会への参加経験あり 3.初めての参加
勤務先		

連絡先	住所	〒 _____
	電話	_____
	FAX	_____
	E-mail	_____

※1 岐阜県内に在住・在勤する会員に限ります。また、施設管理者に連絡先を報告することを了承ください。

※2 当日開催有無等の連絡のためにも必要となります。確実に連絡のとれる連絡先をご記入ください。

※3 法人で複数申込みを行なう場合でも、必ず申込みは1人1枚ずつ、ご記入下さい。

○本勉強会では、岐阜県自然工法管理士の更新に必要な単位として2単位を取得することができます。

○本勉強会は、CPDSの登録申請を予定しています。

当日参加者は、下記の参加通知書を必ずご持参ください。

参 加 通 知 書

この度は、申込み頂きまして誠にありがとうございます。

☐ お申し込みを受け付けました。ご参加をお待ちしております。

☐ 大変申し訳ありません。受付は締め切らせていただきました。

またのご参加をお待ちしております。